

IV-29

仙台城址周辺道路の交通現況について

東北工業大学 正会員○松 山 正 將
同 同 花 淵 健 一
同 同 菊 地 清 文

1：はじめに

仙台城址をとりまく現状を概観すると、史蹟指定を阻害していると考えられる要因がいろいろと散見されるなかで、城址を貫通している幹線道路「川内～旗立線」の問題の解決は代替路線問題を含めて、緊急で且つ大きな問題の一つと判断される。

著者等は、この路線内の仙台城址を中心とする交通問題解決の基礎資料づくりのため、1987年から交通量等の調査を継続しているが、ここでは、昨年までの資料に加えて、交通量と観光バスの詳細把握、二ヶ所の駐車場利用状況そして東北大青葉山キャンパスの迂回路としての状況等、本年度調査によって得られた知見について報告するものである。

2：調査方法

測定対象交差点及び駐車場位置を図-1に示す。大きな円がこれまで継続している交差点で、「青葉山公園前交差点（A）」、「お裏林前交差点（O）」そして「八木山動物公園前交差点（Z）」の3交差点である。小さな円は、迂回路状況調査のための6交差点である。

交通量測定車種は、大型車（バス、普通貨物車、大型特殊車、マイクロバス）と普通車（軽自動車、小型自動車、普通車）と小型貨物車（軽貨物車、小型貨物車）そして二輪車（バイクのみ）の4区分とし、大型車区分に属する観光バスは別カウントして記録した。

主要3交差点の測定は、交差点断面の上下交通量を12時間（7：00～19：00）

15分間隔集計で連続観測し、昨年度までの1時間間隔集計と比較し、時間分布や時間比率の調査を行なった。

駐車場（天守台駐車場と龍の口側の動物公園駐車場：楢円黒丸）の利用状況調査も交通量調査と同時に特に観光バスの出入りとその方向に注意して観測を行なった。

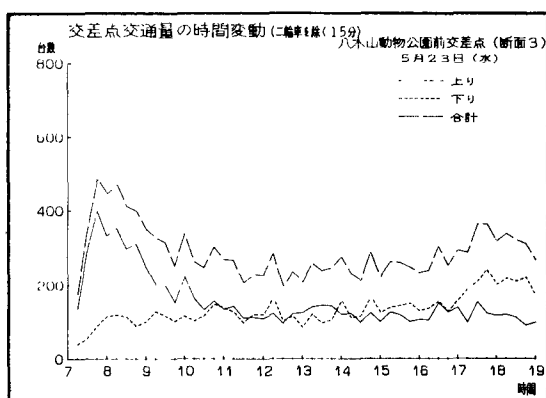
3：結果及び考察

図-2は、Z交差点における交通量の時間変動(4輪)を示したものである。朝ラッシュは7：00～9：00で昼間12時間交通量の約30%を占めていることに変わりはない。特に15分間集計でみると、ピーク時間7：30～7：45で台数は約400台となり、以後このピークは9：00までに徐々に下降し通常走行状態に落ち着いている。また夕方ラッシュは17：00～19：00にピークとなるが、朝方ラッシュほどではなく200台程度が分散してこのピークを形づけている。最も多かったのは18：15～18：30の297台であった。A、O交差点も、台数は異なるが同傾向である。

図-3は、この路線の過去3年間のデータに本年度の調査結果を加えたものである。昨年同様、引き



【図-1：調査対象交差点及び駐車場位置】



【図-2：Z交差点交通量の時間変動】

続き微増傾向を示している事が伺われる。交差点としては、A、Z交差点上下ともに微増傾向は顕著ではあるが、O交差点についてはあまり変動していないことがわかる。

これらの傾向に対する背景としては、市南西部の諸団地の整備が進んできたことと、何よりも中心街への最短距離の路線であることが周知され、利用度が高まっているものと考えられ、今後もこのような傾向は続くものと推察される。

A～Z交差点間の交通量とO交差点の関わりは、これまでの調査でZ交差点上り交通量を100%とすると約30%がO交差点上りへ流出し、またA交差点下り交通量を100%とすると、その約35%がO交差点から流入することが分かっている。朝夕ラッシュ時間帯において、東北大青葉山キャンパス内に設けられた6交差点観測からは、O交差点上りの交通量の約30%が通過して市中心街へ向うが、残りの約70%は東北大・宮教大等の関係者で占められているように思われる。

表-1は、別カウントした観光バスの台数をこれまでのデータを含めて示したものである。やはり仙台城址の史蹟的価値を反映して、A交差点が最も多く、次にO交差点、Z交差点の順になっている。季節的特徴としては、秋に比べ春の観光シーズンに集中している様に思われる。通過台数が集中している時間帯は、午前が10:00～12:00、午後が13:00～15:00となっており、観光バスの移動時間は10:00～15:00が大部分であるといえる。

表-2は、天守台駐車場（バス30台、乗用車は100台）の利用状況を方向別に観測した結果である。A～Z交差点間にはこの他に、龍の口側の動物公園駐車場（乗用車700台分）があるが、春の観光シーズン以外極端に利用台数が少ない。天守台駐車場の入場台数は646台であり、その内観光バスは124台である。当駐車場に入る方向を見てみると、約80%がA及びO交差点方向から、残り20%がZ交差点方向となっている。出ていく方向は、約70%がA及びO交差点、30%がZ交差点方向となっている。

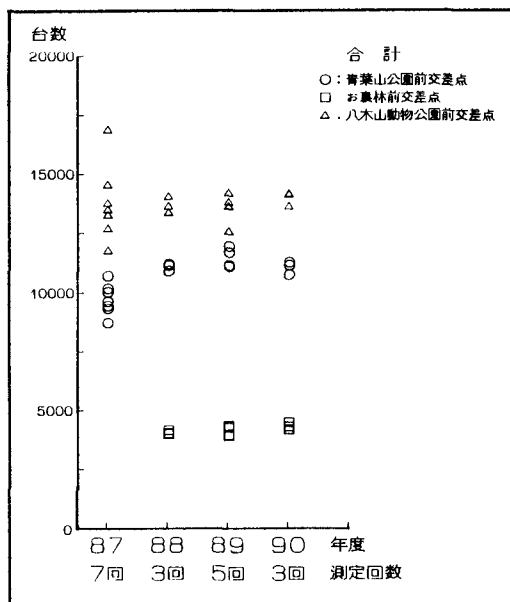
4：おわりに

本調査でも明らかな様に、交通量の微増傾向で心配されることは、天守台石垣に与える交通振動の影響である。即ち安全確保のためには、A～O交差点間の観光バス等の大型車の規制や朝夕ラッシュ時の時間規制等を検討し、あわせて仙台城址の荒廃を少しでも食い止めるべきと思われる。

尚、この調査と解析は1990年度卒業研修学生14名の協力を得て実施されたものである。ここにこれを付記し謝意を表する。

5：参考文献

「仙台青葉城址周辺道路の交通現況調査について」松山・花淵・菊地：第45回年次学術講演会IV



【図-3：A・O・Z交差点交通量経年変化】

測定年度	月日・曜日	A 交差点		O 交差点		Z 交差点	
		上	下	上	下	上	下
1988	6月10日(金)	46	104	120	50	53	60
	10月05日(金)	61	79	91	61	15	28
	10月27日(木)	55	46	52	36	16	13
1989	5月19日(金)	52	139	103	35	88	107
	6月30日(金)	23	54	20	1	4	21
	10月26日(木)	45	93	50	14	19	27
1990	5月23日(金)	40	129	82	17	54	77
	7月05日(木)	41	64	32	4	6	7
	10月08日(月)	47	73	75	17	40	21

【表-1：観光バス】

【表-2：天守台駐車場】

方向		天守台駐車場 (上段は観光バスを含む合計台数、下段は観光バス台数)					
		A下り方向	Z上り方向	入場合計	A上り方向	Z下り方向	出場合計
5/23		535	111	646	456	186	652
		107	17	124	82	41	123
7/05		414	104	518	363	149	512
		72	2	74	71	2	73
10/08		440	86	526	375	153	528
		73	24	97	82	13	95